

# 三菱UFJ チャイナオープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2022年9月21日～2023年9月20日

第 27 期 決算日：2023年9月20日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、中華経済圏の発展の恩恵を受けると思われる企業の株式を中心に投資することにより、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざすことで、信託財産の成長をめざして運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第27期末 (2023年9月20日)

基準価額	12,284円
純資産総額	5,496百万円
騰落率	-4.9%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufg.jp/>[ファンド検索] に  
ファンド名を入力各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード **MUFG** 三菱UFJ国際投信東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第27期：2022年9月21日～2023年9月20日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第27期首	12,922円
第27期末	12,284円
既払分配金	0円
騰落率	-4.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期間の初めに比べ4.9%の下落となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

TENCENT HOLDINGS LTDやTAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACの株価が上昇したことや香港ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

LI NING CO LTDやJD.COM INC-CLASS Aの株価が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※参考指数①は、ハンセン指数（円換算）＜香港＞、参考指数②は、H株指数（円換算）＜香港＞です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年9月21日～2023年9月20日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	212	1.672	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(101)	(0.792)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 98)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 14)	(0.110)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.037	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 5)	(0.037)	
(c) 有価証券取引税	4	0.028	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 4)	(0.028)	
(d) その他費用	9	0.071	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 9)	(0.068)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	230	1.808	

期中の平均基準価額は、12,691円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

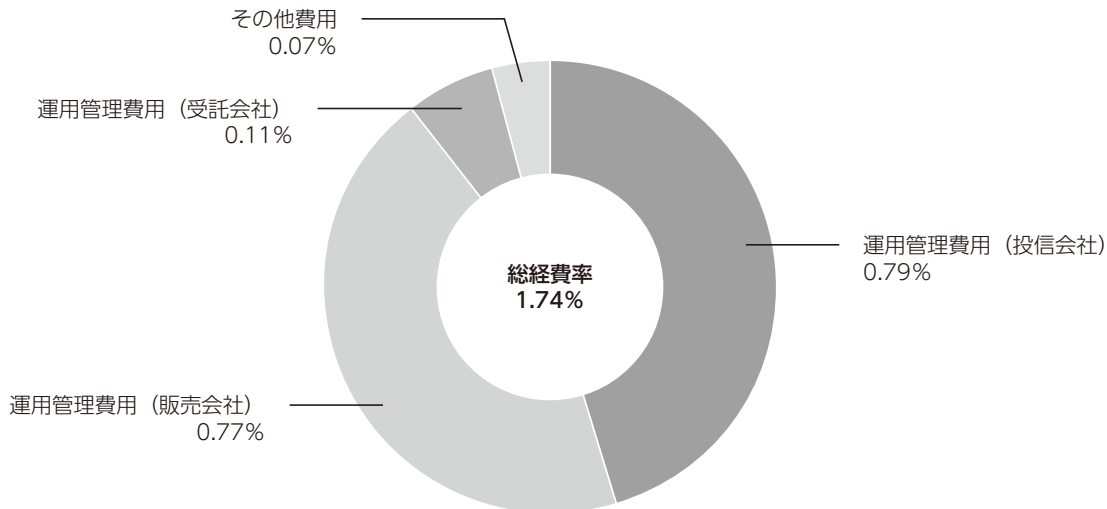
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.74%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

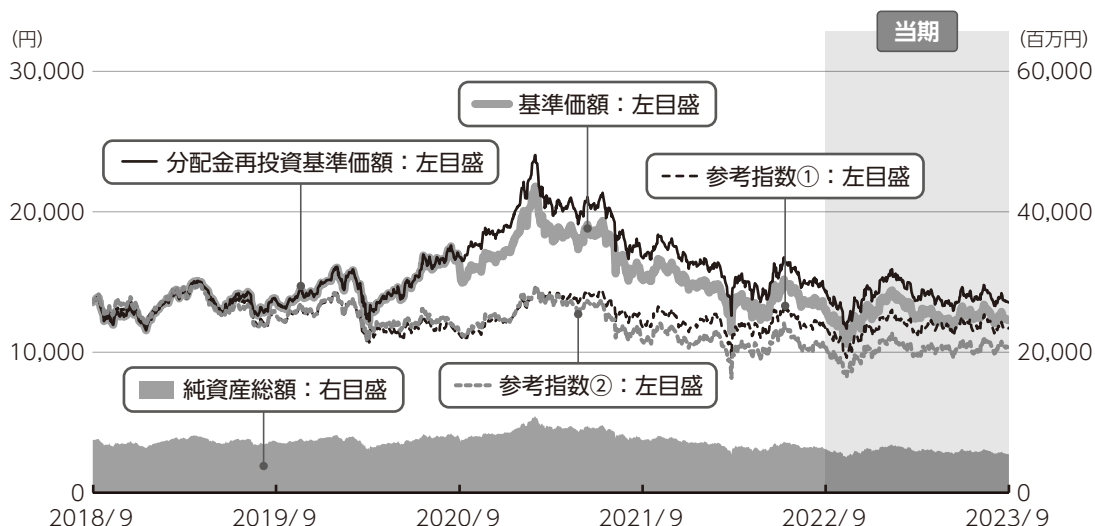
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年9月20日～2023年9月20日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2018年9月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/9/20 期初	2019/9/20 決算日	2020/9/23 決算日	2021/9/21 決算日	2022/9/20 決算日	2023/9/20 決算日
基準価額 (円)	13,562	13,640	15,127	15,130	12,922	12,284
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	50	1,500	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.9	21.9	0.0	-14.6	-4.9
参考指数騰落率① (%)	—	-7.0	-11.9	5.4	-0.0	0.3
参考指数騰落率② (%)	—	-6.9	-9.3	-6.5	-4.8	1.8
純資産総額 (百万円)	7,476	7,292	7,248	7,494	6,175	5,496

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数①は、ハンセン指数 (円換算) <香港>、参考指数②は、H株指数 (円換算) <香港>です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第27期：2022年9月21日～2023年9月20日

## 投資環境について

### 株式市況

#### 香港株式市況は下落しました。

香港株式市況（ハンセン指数）は、期間の初めから2023年1月下旬にかけて、米政府が中国への半導体輸出規制を強化したことなどを背景に下落する局面もありましたが、中国当局による防疫措置の緩和や中国本土の新型コロナウイルス感染の落ち着きを背景に経済再開への期待が高まったことなどから上昇しました。その後、米政府による中国の気球撃墜を受

けて米中対立激化への懸念が高まったことや、経済指標の低迷を受けて中国景気の下振れ懸念が高まったこと、中国不動産市場を巡る不安の再燃により投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落しました。

### 為替市況

#### 香港ドルは、円に対して上昇しました。

香港ドルは、連動する米ドルに連れて、円に対して上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、これらの株式を高位に組み入れて運用を行いました。

銘柄選定にあたっては、AIA GROUP LTDやTENCENT HOLDINGS LTDなどへの重点的な投資を継続しました。

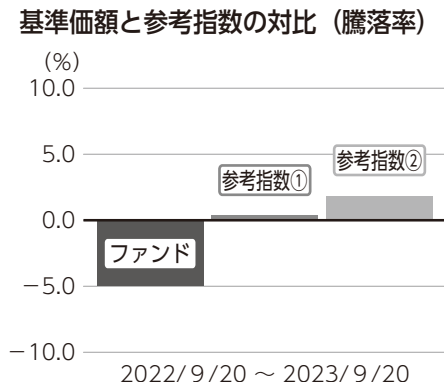
ポートフォリオの保有銘柄数は、概ね45銘柄

程度で推移し、期間末は46銘柄となりました。企業業績や株価動向などを踏まえ、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。その結果、CHINA CONSTRUCTION BANK-HやBYD CO LTD-Hの新規購入などを行った一方で、GDS HOLDINGS LTD - ADRやHIWIN TECHNOLOGIES CORPの全売却などを行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数①は、ハンセン指数（円換算）＜香港＞、参考指数②は、H株指数（円換算）＜香港＞です。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第27期 2022年9月21日～2023年9月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	10,219

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

引き続き、香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、これらの株式を高位に組み入れて運用を行います。

中国では、コロナ禍で抑制されていた外食や旅行に対する需要が高まる一方、不動産業界の低迷などを背景に、足元までの景気回復は緩やかなペースにとどまっています。こうした経済状況を受け、中国当局による景気下支え策は強化されてきており、2023年後半も内需主導の景気回復トレンドは緩やかながらも維持されると予想しています。株式市況においては割安感が伺える中、中国の景気減速

および米国の金融政策や景気動向、地政学リスクなどは引き続き懸念材料ではあるものの、こうした経済状況を背景にした企業業績の回復・成長に伴い、香港株式市況は底堅く推移すると見込んでいます。

中国政府による中長期的な政策支援の恩恵が期待できる半導体関連企業、AIなどの新しい産業で活躍する企業、脱炭素の取り組みによる恩恵が期待できる中国企業に注目しています。

株式組入比率については、概ね90%以上の水準を維持する方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

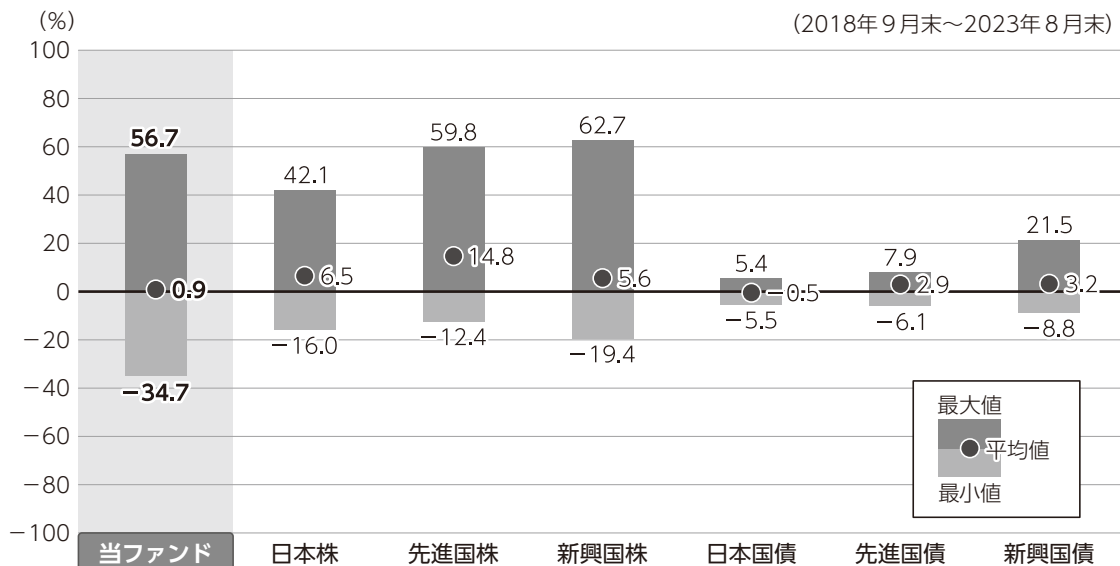
- ・三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2026年9月18日まで（1996年10月1日設定）
運用方針	<p>主に、香港、上海および深センの金融商品取引所（ただし、設定日以降、中国に新しく金融商品取引所が創設された場合はこれを含みます。）に上場されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。運用にあたりましては、中華経済圏の発展の恩恵を受けると思われる企業の株式を中心に投資します。三菱UFJ国際投信は、人民元建株式（A株）投資に係るQFIIライセンスを取得しています。</p> <p>※QFII（Qualified Foreign Institutional Investors：適格国外機関投資家）制度とは、一定の適格条件を満たし、中国の証券市場に投資することについて中国証券監督管理委員会（CSRC）の認定を受け、かつ国家外貨管理局（SAFE）から投資限度額を取得した国外の機関投資家に対して、中国証券市場への投資を認める制度です。</p> <p>投資対象銘柄群の中でも、情報開示に優れ、明確な戦略を持ち、長期的な成長が期待できる企業に投資します。原則として株式を高位に組み入れる方針ですが、市況環境やファンドの資金状況によっては、組入比率が高位とならない場合があります。香港、上海および深セン取引所以外の市場で取引されている中国企業の株式、預託証書（DR）およびカントリーファンド等へも投資します。また、台湾企業の株式、預託証書（DR）およびカントリーファンド等へ投資することがあります。外貨建資産については、為替変動リスクを軽減するため為替ヘッジを行うことがあります。</p>
主要投資対象	香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	香港、上海および深センの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、中華経済圏の発展の恩恵を受けると思われる企業の株式を中心に投資することにより、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合に、当期の基準価額上昇分の範囲内で分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年9月から2023年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2023年9月20日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：46銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	TENCENT HOLDINGS LTD	株式	ケイマン諸島	メディア・娯楽	8.3
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	株式	台湾	半導体・半導体製造装置	8.2
3	AIA GROUP LTD	株式	香港	保険	7.8
4	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	株式	ケイマン諸島	一般消費財・サービス流通・小売り	5.9
5	SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	株式	ケイマン諸島	耐久消費財・アパレル	5.2
6	KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	株式	中国	食品・飲料・タバコ	4.6
7	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	株式	香港	金融サービス	4.6
8	SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	株式	中国	資本財	4.2
9	CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	株式	中国	資本財	3.2
10	MEITUAN-CLASS B	株式	ケイマン諸島	消費者サービス	2.9

※比率は純資産総額に対する割合です。  
※REITを含めて表示しています。

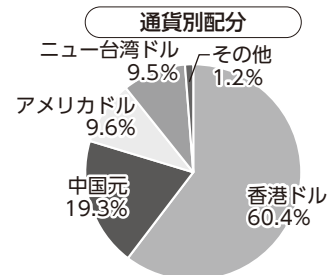
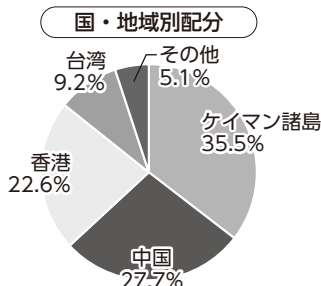
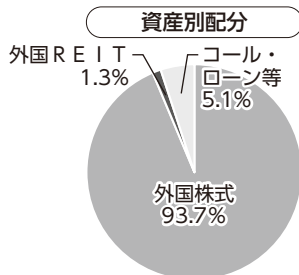
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。  
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 純資産等

項目	第27期末 2023年9月20日
純資産総額 (円)	5,496,224,764
受益権口数 (口)	4,474,440,463
1万口当たり基準価額 (円)	12,284

※当期中において追加設定元本は281,501,070円  
同解約元本は 586,001,603円です。

### 種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数①である『ハンセン指数（円換算）＜香港＞』について

ハンセン指数とは、香港取引所上場の主要銘柄から構成される代表的な株価指数で、香港取引所上場の浮動株比率を用いた時価総額加重に基づく計算方法で算出されています。ハンセン指数（円換算）は、ハンセン指数をもとに委託会社が計算したものです。

## ▶ ファンドの参考指数②である『H株指数（円換算）＜香港＞』について

H株指数とは、香港取引所上場の中国本土企業の銘柄を対象とし、基準日（2000年1月3日）の時価総額を2,000として算出される浮動株調整後時価総額加重平均指数です。H株指数（円換算）は、H株指数をもとに委託会社が計算したものです。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJ国際投信